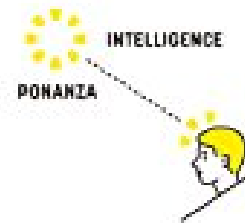


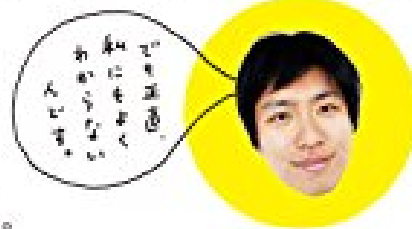
人工知能はどのようにして  
「名人」を超えたのか？ 最強の将棋AIポナンザの開発者が  
教える機械学習・深層学習・強化学習の本質

最強の将棋AIポナンザの  
開発者が教える機械学習・  
深層学習・強化学習の本質



人工知能は  
どのように  
して「名人」  
を超えたの  
か？ 山本一成

10年間AIを作りながら  
考えた、知能と知性、  
コンピュータと人間のこと。



ダイヤモンド社

発売日: 2017年5月12日  
出版: ダイヤモンド社  
著者: 山本一成  
PDF

2017年4月1日 人工知能「ポナンザ」が現役の将棋名人に公式戦で初めて勝利した日を、その生みの親である著者は次のように振り返ります。

「この日は、コンピュータ将棋の世界にとって記念すべきものになりましたが、同時に改めて、人間と人工知能の違いを認識させられた日ともなりました。

本書で紹介してきた人工知能(ポナンザ)の特徴と、世界に意味を見つけ物語を紡いで考えていく人間の思考法の限界が明確に表れたのです。」

本書の魅力は、このフレーズに象徴される「人工知能と人間の本質的な違い」

そして「知能と知性の未来」を、

プログラマからの卒業

科学からの卒業

天才からの卒業

人間からの卒業

という4つの章で見事に段階的に説明している点にあります。

そしてもう1つの読みどころは、著者が研究の最前線で遭遇した驚くべき事象や、囲碁・将棋のプロ棋士たちの人工知能への反応をビビッドに記述していること。

**黒魔術化する人工知能**

**黒魔術の1つ、「怠惰な並列化」とは**

**ディープラーニングは 知能の大統一理論になれるか?**

**サイコロにも知能がある!?**

**囲碁は画像だった!**

**知能の本質も画像なのか?**

**科学が宗教になる瞬間を見た**

**研究者は「人工知能の性能が上がった理由」を説明できない**

**人類はこれから、プロ棋士と同じ経験をする**

などなど、目からウロコの解説の連続で、既存のどんな人工知能の解説書よりも面白くてわかりやすい、必読の1冊となっています。

<http://yep.pm/7wcjhR3i5/uZo8A7ADW.pdf.rar>